

資料② 横手盆地の発酵食 PR

中学生のころから総合的な探求の学習の時間で、横手市の食文化に触れる機会があり、発酵食品の文化が根付いていることを学んでいたため、新しくできた施設でこのようなイベントが開催されたことがうれしく思った。横手市も含め地方都市では人口減少の問題が深刻化してきているため、積極的に地域の文化と関係づけたイベントをしていくことで地方人口の増加が期待される。特に横手市の冬にはたくさんの雪を活用した各種イベントも充実しているので季節ごとに注目されるようになることが理想的だと感じた。これを実現するには横手市の交通機関が充実し、移動が容易になるとより効果的になると感じたので今後どのような発展をしていくのが重要になっていくと考える。

また、発酵食品には最近興味を持っており特に日本酒に惹かれているため秋田県の地酒が全国に広まっていくといいなと感じた。日本酒はイタリアン料理など海外でも注目されてきているためより世界にも広まっていくことが望ましいと思った。

日本の健康食については随分と以前から世界で注目されている印象だ。人口は年々都市部に偏り少子化問題も相まって人口減少が進む秋田は全国的に見てもマイナスイメージが幾分あるように思う。しかし、米作りやそれに伴い古くから継承されている発酵技術に関してはこの地域だからこそ生み出された貴重な財産であり決して淘汰されるべき物ではないと記事を読んで改めて感じた。今回のようなイベントは秋田、ひいては横手の未来の為に重要な役割を果たす画期的なものだ。今後ユネスコの無形文化遺産となれば、注目が集まり大きな事業展開や秋田の明るい未来を望めるのではないだろうか。ユネスコの無形文化遺産の登録可否結果について横手市民として、大いに期待したいところである。